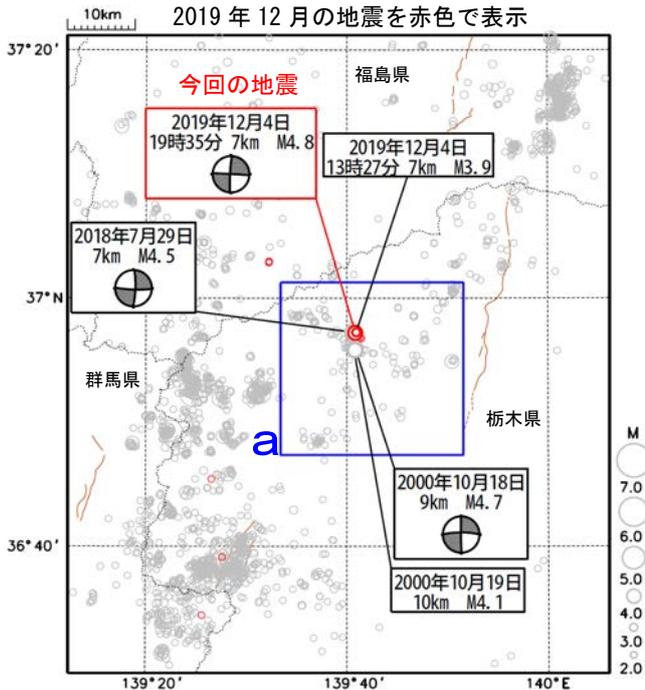


12月4日 栃木県北部の地震

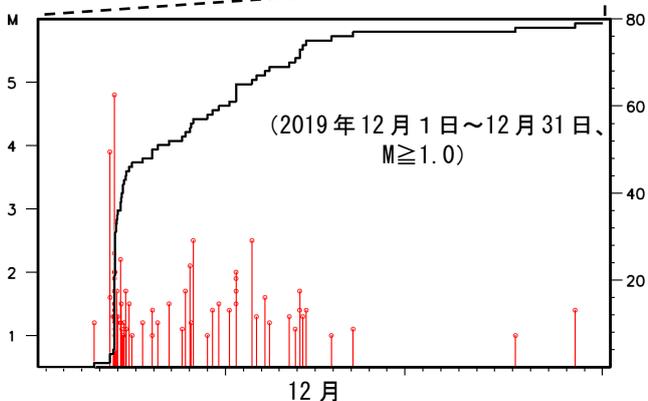
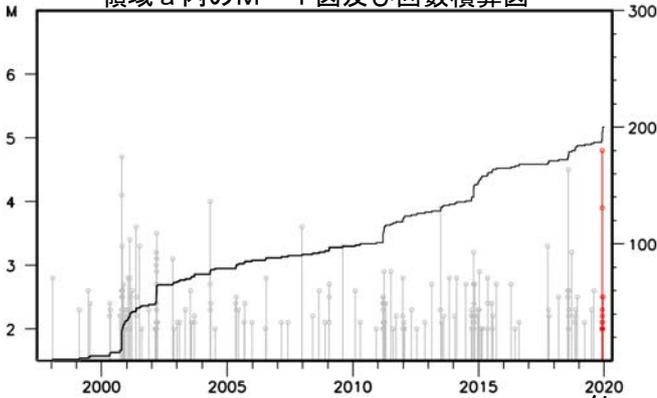
震央分布図

(1997年10月1日～2019年12月31日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)
2019年12月の地震を赤色で表示



震央分布図中の茶色の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



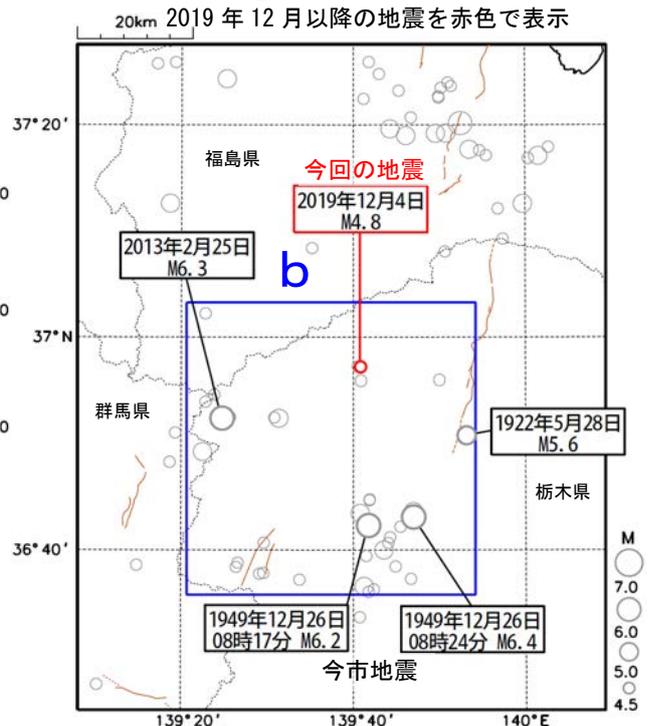
2019年12月4日19時35分に栃木県北部の深さ7kmでM4.8の地震(最大震度4)が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は、北西-南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域a)では、2018年7月29日にM4.5の地震(最大震度3)が発生している。また、2000年10月18日にM4.7の地震、翌19日にM4.1の地震(いずれも最大震度4)が発生するなど、まとまった地震活動が時々みられる。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域b)では、1949年12月26日に08時17分と08時24分にそれぞれM6.2とM6.4の地震が短い時間で連続して発生し(今市地震)、死者10人、負傷者163人、住家全壊290棟、非住家全壊618棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

震央分布図

(1922年1月1日～2019年12月31日、
深さ0～50km、 $M \geq 4.5$)
2019年12月以降の地震を赤色で表示



震央分布図中の茶色の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

領域 b 内の M-T 図

